



せんきたしょうだより

吹田市立千里丘北小学校 学校だより

吹田市立千里丘北小学校 吹田市千里丘北1-30 TEL 06-6876-0103 FAX 06-6876-0133

5月号
令和3年
(2021年)
4月30日発行

国の緊急事態宣言が発出されました

ご存知のように国から3度目となる緊急事態宣言が4月25日から5月11日の期間で発出されています。学校においては昨年のような一斉休業の措置はとらないことになっていますので、感染防止に努めながら、通常の学校生活を継続することになります。

原則として「給食を除いて登校から下校まではマスクを常時着用することとし、感染リスクが高い教育活動は中止、または内容を変更して実施することになります。ただし、気温が上がる時期でもありますし、児童生徒等本人が暑さで息苦しいと感じた時などには、マスクを外すなど自身の判断でも適切に対応することも可能とします。(新型コロナウイルス感染症対策マニュアル【市町村立学校園版】より)

児童や保護者みなさまにはさらなる負担をお願いすることにもなりますが、健康と安全を最優先したいと考えておりますので、ご理解・ご協力をおねがいたします。

いじめの防止について

子どもたちの学校生活の中で、日々いろいろなトラブルが起きます。多くの人数が集まって過ごせばトラブルは起きるものですが、それが「いじめ」に発展してしまわないように気を付けたいといけません。

本市では「いじめ重大事態」が生じたことから「いじめを起こさないための学校づくり」が求められています。今号ではこのいじめ防止の取り組みについてお伝えします。



【「いじめ」の定義】

「いじめ」と聞くと「力の強い子が弱い子に対して」あるいは「多人数が一人の子に対して」というイメージがありますが、いじめ防止対策推進法ができた平成25年からは「いじめ」は次のように定義されています。

「いじめ」とは、「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係のある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものも含む。)であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。」とする。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。

何かをされた側の子が苦痛と感じたらそれは「いじめ」であると定義されています。この頃からいじめの発生件数は急激に増加しましたが、この定義に当てはめた結果、いじめと認定されるケースが多くなったという側面もあります。このような定義になった背景には「単なるふざけ合いだろう」「された方も嫌がっていないようだ」「対等な関



係に見えるので、まさかいじめられてはいないだろう」などといじめ事案として取り上げられなかったことで重篤化するケースがあったからです。

また「いじめ事案」として認知すると解消までを報告することが学校には求められていますが、「いじめの解消」も謝罪したから解消したというわけではなく、「いじめ行為がやんでいる状態が3か月継続している」「被害者が心身の苦痛を受けていない」という2つが成

り立って「解消した」と報告することになります。

【いじめの早期発見・対応】

いじめの解決のためには早期に見つけて対応する必要があります。そのためには児童の様子を正確に把握することが求められますが、本校では学期ごとに行う「生活アンケート」と月ごとに行う「ふりかえりカード」というアンケートを実施しています。児童の書いた内容は校内の担当委員会で複数の目で確認し、記入内容で気になる部分があった児童については本人から直接聞き取ったりして状況の把握に努めるようにしています。また、児童からの訴えや連絡帳や電話などで保護者の方からいただいた情報は、担任一人だけで抱え込まず、必ず学年の他の教員や生活指導担当者、管理職に報告をして必ず複数で対応することになっています。また、いじめで悩む児童に対しては1人1台配付しているiPadにマモレポというアプリケーションが入っており、そこを立ち上げることで学校や教育委員会に相談できる仕組みになっています。現在はまだ使用できませんが、運用条件が整い次第使えるようになります。



【いじめの解消に向けて】

個々のケースにより対応は異なりますが、上がってきた情報については客観的な事実を把握するために、関係児童からの聞き取りを行います。複数の児童に対しては同時に聞きとることもあり、休み時間に実施できない時は授業中に行うこともあります。もちろん授業の学習内容は大事ですが、いじめの状態を解消することが優先されるべきことと考えていますのでご理解ください。

聞き取った内容で「いじめ」の可能性があると判断したときは、校内に「いじめ防止対策委員会」を設置し、状況の共有を図ります。「いじめ防止対策委員会」に参加するのは担当教員ですが、会議内容は後に全教職員で共有するようにしています。そのうえで内容を整理し、トラブルの双方にも確認して、何が起きたのかを把握します。聞き取った内容や指導の過程は保護者の方にもお伝えし、今どんなことが起きて、どんな指導をしているのかを説明します。いじめの対応は「誰が悪かったかを特定する」とか「謝罪をする・させること」が大事なのではなく、**その後も続いていく子どもたちのつながりを考え、一緒に過ごす仲間として成長していける結果にすることを一番に考えています。**いじめは失くしていくべきものですが、逆にどの学校・どの学級でも起こりうるものとして考えています。もし、いじめが疑われる事案が起きたときは子どもたちの育ちにつながるような方法を一緒に考えさせてください。どうぞよろしくお願いします。



各学年の目標

本校の学校教育目標は「総合的人間力の形成～笑顔輝く子どもたち～」です。この学校に集い、学校生活や学校行事に取り組んでいく中で、多くの友だちとともに成長していきましょうという思いが込められています。その学校教育目標を具現化するために各学年では「学年目標」を定めています。今日はバラエティーに富んだ各学年の目標を紹介します。

1年

いちねんせいの もくひょう

『 にこにこ 』

たのしく
なかよく
げんきよく

自分も友達も大切にして、いつもにこにこ笑顔でのびのびと成長できる子どもたちを目指していきます。

2年

レッツ
トライ!!

臆せずいろんなことに挑戦したり、友だちの優しさや気持ちに気づいたりして、心も体も大きく伸ばして行ってほしいと思います。

HERO

～ひとひとりがHERO～

3年

笑顔いっぱい元気に、様々なことに一生懸命取り組みながら、友だちを大切に、学校生活を送ってほしいと思っています。その思いを踏まえ、一人ひとりが持ち味を發揮し、友だちと協力して新しいことにチャレンジして欲しいという願いを込め「HERO」にしました。

こうどう

4年

「先の事を考えて動いて欲しい」と思い、考えた言葉です。子どもたちは3年間小学校で過ごしてきて、「こういう場面ではこうするのが良さそうだな」「これはやめた方がよさそうかな」ということを理解し出した頃だと思っています。この力を1年間かけてつけ、大きく成長させたいと考えています。

Active Brave Challenge

～ABCからはじめよう～

5年

学年目標は Active Brave Challenge です。5年生は4年生以上にたくさんの行事や取り組みがあります。「なかまとともに、一人ひとりがいきいきと自分らしく挑戦できる一年に!」という願いを込めてつけました。

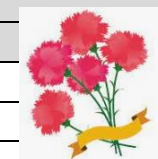
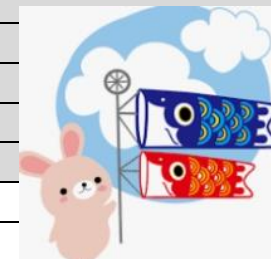
Action
Reaction
Reflection

6年

この3つの言葉を大切に、千北小の最高学年として活躍してほしいと思います！（Action:行動 Reaction:反応 Reflection:深く振り返る）

5月の行事予定

日	曜	行事
1	土	
2	日	
3	月	憲法記念日
4	火	みどりの日
5	水	こどもの日
6	木	聴力検査③ 内科検診④⑥
7	金	聴力検査② すみっこぴっかぴかの日
8	土	
9	日	
10	月	短縮5限 聴力検査①
11	火	短縮5限
12	水	通常4限①～③ 短縮5限④～⑥
13	木	短縮5限 眼科検診（抽出）
14	金	短縮5限
15	土	
16	日	
17	月	スポーツテスト⑤
18	火	ひまわりタイム 耳鼻科検診（抽出）
19	水	短縮5限④～⑥
20	木	ひまわりタイム
21	金	歯科健診（5年・2年1・2・3組）
22	土	
23	日	
24	月	プール清掃
25	火	ひまわりタイム
26	水	委員会活動 歯科健診③・2-4・2-5
27	木	全国学力学習状況調査⑥ すくすくテスト⑤ ひまわりタイム（6年以外）
28	金	登校検尿
29	土	
30	日	
31	月	人権学習会③④



千里丘北小ブログ

千北小の「今」を日々発信しています。ぜひご覧ください！
千北小HP→千里丘北小学校ブログ



お知らせしておりますように10日(月)～14日(金)に個人懇談会を予定しておりました個人懇談は現在の感染状況を鑑みて、一律での実施は見送ります。ただし、お子様のことで担任に伝えたいということなどがございましたら個別に面談を実施させていただきます。よろしくお願いいたします。

6月の主な予定

- 1日(火) 心臓検診二次(抽出) 2日(水) クラブ活動
- 7日(月) プール開き 8日(火) 歯科健診④⑥ 30日(水) 歯科健診①